

質問・意見回答書

(1) 後期重点事業について

番号	該当箇所	質問・意見内容
1	重点事業 9 Society5.0	9. Society5.0 についてだが、通信設備の整備から始めて、小さい店舗まで含めたキャッシュレス決済の浸透など、時間軸・内容を踏まえてきちんと進めていって欲しい。身近なところからでいいので着実に進めて欲しい。
	担当課： 総合政策課・ 学校教育課	<p style="text-align: center;">質問・意見への回答</p> <p>ICTの活用に関しては、民間よりも市の方が遅れているため、今後市税のスマホ収納（キャッシュレス決済）や、RPAの活用などにより市民サービスの向上と行政の効率化を図るなど、できるところから着実に進めていきます。</p> <p>また、子どもたちについては、GIGA スクール構想によって整備された環境の中で、Society5.0 で提唱された超スマート社会に柔軟に対応し、活躍できる人材の育成を目指して取り組んでいきます。</p>
番号	該当箇所	質問・意見内容
2	①②重点事業 2 子育て ③重点事業 3 健康長寿	<p>①最近、望まない妊娠をした若者が、相談に来ることが多い。そういった親も含め、全ての親が心身共に健康で、孤立してしまわないよう支援を進めて欲しい。</p> <p>②中学校から高校に進学する段階で、不登校や課題を抱えてしまう子ども達が増えるようだ。そうなれば、市から県の管轄になってしまうが、そういった子ども達が社会に復帰できるための包括的な組織体制や継続支援が必要だと思う。</p> <p>③健康診断は、どうしても企業主体となるため、働いていなかったり、引きこもったりしている若者も、健康診断を受診できる体制整備が必要ではないか。</p>
	担当課： 健康課・ こども課	<p style="text-align: center;">(①について) 質問・意見への回答</p> <p>市では、子育て世代包括支援センターを設置し、母子保健コーディネーターによる母子健康手帳交付や子育てサポートプランの交付を行っています。さらに、乳幼児健診や教室・相談事業、生後 4 か月までの乳児のいる家庭への全戸訪問などを実施し、早くから母子と関わることにより、それぞれの状況や課題に応じて、孤立することなく母子が心身共に健康で安心して子育てができるような支援をしています。</p> <p>また、地域の中で助け合いながら子育てができるようフ</p>

		<p>ファミリー・サポート・センターや地域子育て支援センター等において、預かりや相談体制を整備し、保護者の支援に力を入れています。</p> <p>ご意見を踏まえ、後期重点事業2. 子育てを応援し子どもたちを大事に育てるまちづくりの推進の重点施策に下線の文章を追加します。</p> <p><u>③乳幼児健診や相談等事業を通じ乳幼児の健やかな発育・発達、育児不安を軽減するための支援を行うとともに、ファミリー・サポート・センターや地域子育て支援センター機能の充実を図ることで、地域における子育て世帯の安心感を醸成します。(3-2-2、3-2-5)</u></p>
	<p>担当課： 学校教育課</p>	<p style="text-align: center;">(②について) 質問・意見への回答</p> <p>委員のご指摘のとおり、市では小中学校の児童・生徒を中心に支援を行っており、不登校になっていたり、課題を抱えたりしている高校生に関しての相談があった場合には、必要に応じて出身中学校との情報共有を図りつつ、県の教育センターをご紹介している状況です。一方、進学の際には、成績や出席日数、学級活動の様子を総合的に記載した学習指導要録が、中学校から高校へ送付されることとなります。また、指導要録とは別に、個別の教育支援計画や個別の指導計画、キャリアパスポート等で情報提供を行うなどの配慮を行っています。包括的な支援体制構築に向け、今後も、中学校と高校間の円滑な情報共有を進めてまいります。</p>
	<p>担当課： 健康課</p>	<p style="text-align: center;">(③について) 質問・意見への回答</p> <p>健康診断は、基本的には加入している健康保険組合が主体となって実施してもらうこととなっていますが、働いていない場合や勤務先（職場）で健診を受ける機会がない場合、18歳から39歳の米沢市民であれば加入している保険にかかわらず「はつらつ基本健康診査」を、20歳以上の女性は、子宮頸がん検診も受診することができます。様々な課題を抱えた若者も受診がしやすいように、はつらつ基本健康診査は、米沢検診センターだけでなく、市内医療機関でも受診が可能で、費用の一部を市で負担するなど、受診しやすいものになっています。また、平成30年度から障がいをお持ちの方も気兼ねなく受診していただけるよう、就労施設A型及びB型の生活指導員、利用者とそのご家族を</p>

		対象に、検診センターにおいて専用の健診日を設けています。健診の結果についても施設の希望に合わせた形式で説明会を開催するなど、施設の方々と打合せ会を行いながら環境を整備しているところです。今後も広く周知を図り、健康診断の積極的な受診を進めてまいります。
番号	該当箇所	質問・意見内容
3	①重点事業5 コンパクト・プラス・ネットワークのまちづくり ②重点事業7 中小企業の振興 ③重点事業8 米沢ブランド戦略	<p>①広幡地区の乗合タクシー利用者から、行きは便利だが、帰りは、予定どおりに診察等が終わらず利用できないことがあり不便だとの声を聞いた。そういった利用者の声を取り入れるとともに、乗車率や費用も考慮して地域公共交通計画を策定して欲しい。</p> <p>②広く若者の力を、ものづくりやまちづくりに反映させていって欲しい。</p> <p>③米沢ブランド戦略の推進の施策文言が、ものづくりの企業に特化して書いてあるように感じるので、文面を変更して欲しい。また、売る側の生産者だけではなく、買う側の消費者の立場についても、どこかに記載してもらえないか、一度検討して欲しい。</p>
	担当課： 総合政策課	(①について) 質問・意見への回答
		<p>地域公共交通計画は、来年度中の策定を目指しており、本年度は、市民の様々な声を調査する予定です。具体的には、市民・高校生・民生委員等へのアンケート調査や、交通事業者等のヒアリング調査、バス利用実態調査等を実施することにより、広く市民の声を集め、利便性の向上や、利用者増につながる方法を検討していきたいと思います。</p> <p>また一方で、人口減少が進む中、地域公共交通の維持には費用がかかることから、利便性と同時に持続性のバランスを考えた計画となるよう、今後検討していきます。</p>
	担当課： 総合政策課・商工課	(②について) 質問・意見への回答
		<p>本市では、学生団体によるなせばなる秋まつり等のイベント支援や、中心市街地活性化協議会と連携した賑わいづくりなど、色々な形で学生にまちづくりに参加してもらっています。また後期基本計画策定にあたっては、大学生向けアンケートを実施するなど、学生の意見反映を図っています。今後は、まちづくりに留まらず、ものづくりや中小企業振興等の様々な場面において、より一層学生の力を活用できるよう努めてまいります。</p>

	担当課： 米沢ブランド戦略課	<p style="text-align: center;">(③について) 質問・意見への回答</p> <p>③米沢ブランド戦略は、米沢品質向上運動を推進することにより、製品だけでなくサービスも含めた米沢の様々なものの価値を高めていくことを目指しています。</p> <p>委員の意見を踏まえ、米沢ブランド戦略に関する施策の文章を以下のように変更いたします。</p> <p>○市内の企業それぞれが「挑戦と創造」の観点で自社の製品やサービス等の磨き上げを進めることで、内外の消費者に認められる本市独自のものづくりやおもてなしを促進します。</p>
番号	該当箇所	質問・意見内容
4	①②重点事業2 子育て	<p>①乳幼児保育施設の整備は必要だが、現場では、何より人材不足が問題となっているので、市としてもぜひ人材育成に協力をお願いしたい。</p> <p>②保護者から施設（ファミリー・サポート・センター）での利用手続きが難しい、施設利用料金が高いなどの声を聞く。利用しやすく、安心して預けられるようにしてほしい。また、一人親や精神的なサポートが必要な方達も含めた親への支援に力を入れてほしい。</p>
	担当課： こども課	<p style="text-align: center;">質問・意見への回答</p> <p>①教育・保育施設において、そもそも職につく人が少ない、幼稚園教諭や保育士の資格を持っていても、離職している人が多いなど人材が不足している状況については、改善が必要だと考えています。</p> <p>国の施策として、保育士の処遇改善や離職保育士に対する再就職支援の強化等を行っており、県においても保育士再就職支援研修会の実施、保育士就職支援コーディネーターなどの相談窓口を設けて人材確保に力を入れています。本市でも、将来的に保育士資格取得を目指す保育補助者の支援に対する国の補助メニューを最大限活用するなど、人材の確保に努めていますが、委員のご指摘のとおり、十分な人材確保には至っていない状況です。今後も、国や県と連携して人材不足の解消に努めてまいります。</p> <p>②ファミリー・サポート・センターは、子育ての援助をする人と援助を受けたい人が会員になり、地域の中で助け合いながら子育てをする有償ボランティア組織です。この組織では、保護者の多様なニーズに応えられるよう、病児・</p>

		<p>病後児の預かりや早朝・夜間における緊急時の預かりなど支援の充実に努めております。そのため、保護者のニーズに応じたきめ細やかな支援を行い、双方が安心して安全に利用できるよう、利用会員、協力会員、アドバイザーの3者による事前打ち合わせを行っており、このことが、手続きが難しいと感じる要因になっている可能性があります。</p> <p>また、利用料については、令和元年10月から、保育の必要性がある子どものうち、認可保育所や認定こども園等を利用していない場合は、保育料相当分が無償化の対象となっております。</p> <p>利用者の声を参考に利用方法や無償化の制度について、利用者にわかりやすい方法で周知を図り、一層の利便性向上に努めてまいります。</p> <p>また、一人親に対する支援としては、ひとり親自立支援の相談窓口を設置し、様々な相談を母子父子相談員が受付ています。家庭での養育や生活上の問題、虐待など家庭内のさまざまな問題については、家庭児童相談も実施しています。今後とも、様々な支援対策を行い、保護者が安心して子育てをできるように取り組んでまいります。</p>
番号	該当箇所	質問・意見内容
5	①②重点事業4 災害に強いまちづくり	<p>①人口は減少しているが、除排雪距離が年々延伸されている状況では、今後破綻するのではないかと心配だ。持続的な除排雪体制を検討する必要があるのではないか。</p> <p>②市民の除排雪を推進するためにも、館山地区のような流雪溝整備が必要でないか。</p>
	担当課：土木課	<p style="text-align: center;">質問・意見への回答</p> <p>①市道認定の延長等により、年々除雪延長距離は伸びており、委員がご指摘いただいたように持続的な除排雪体制を維持するため、効率的な除排雪が必要になります。例えば、均一的な除雪は難しくなるため、主要道路と住宅街の道路で除雪をする基準を変えるなど、他市町村の事例を参考にしつつ、効率的な除雪体制を実現します。</p> <p>②館山地区にある流雪溝は、確かに大変有効な設備ですが、流雪溝の設置には、十分な勾配や水量などの条件を満たす必要があり、市内全域に設置することは難しいと考えています。特に水量の確保が重要ですが、市では一部の地域において、ポンプで水を吸い上げて循環させる循環型流</p>

		雪溝を設置するなどの方法も検討しています。
番号	該当箇所	質問・意見内容
6	重点事業 全体	12の重点事業は、全て1.人口定住の促進に集約されるはずである。他の11の重点事業は、独立した項目ではなく、1.人口定住の促進に集約されていることが分かる書きぶりとして欲しい。
	担当課： 総合政策課	<p style="text-align: center;">質問・意見への回答</p> <p>委員のご指摘のとおり、重点事業は人口定住の促進に集約されるものとなっています。また、人口減少が進む中で、人口減少を緩やかにするとともに、人口減少や少子高齢化に対応できるような持続可能な社会を作っていく必要があると考えています。</p> <p>つきましては、1～12の重点事業の前に、最重要課題として、人口減少社会への対応を掲げるとともに、全ての重点事業が、最重要課題に対応していることが分かるよう、重点事業のイメージ図も追加いたします。</p>
番号	該当箇所	質問・意見内容
7	重点事業 全体	重点事業は、将来像「ひとが輝き 創造し続ける 学園都市 米沢」につながると思う。各重点事業が、1.人口減少対策を基盤としながら、将来像のどこに貢献する事業なのか分かるように記載してはどうか。
	担当課： 総合政策課	<p style="text-align: center;">質問・意見への回答</p> <p>後期5年間で重点的・分野横断的に取り組む事業を後期重点事業としています。「人口減少社会への対応」に向け、各重点事業に取り組むことで、市民が魅力を感じられるまちづくりを推進し、将来像の実現につなげていきます。</p>
番号	該当箇所	質問・意見内容
8	重点事業2 子育て	これまでの審議会で、出生率の低下は、結婚しない人が増えているからという議論があった。結婚しない理由として、収入が少なく雇用が安定しないことが考えられる。安定した雇用条件を企業に検討してもらうことも重要ではないか。
	担当課： 総合政策課・ 商工課	<p style="text-align: center;">質問・意見への回答</p> <p>市では、施策1-4 安定した雇用と働きやすい環境づくりの推進において、安定した雇用に向けた様々な対策を行っ</p>

		<p>ています。例えば正規雇用促進のため、県と連携し就職支援窓口等の周知を行うほか、市外から新たに市内に立地した企業が、本市の市民を正社員として雇用した場合に企業立地雇用促進奨励金を交付するなどしています。</p> <p>雇用対策が、婚姻率ひいては出生率の向上に有効であるという審議会での意見を踏まえ、過去に施策 3-2 安心して産み育てることができるまちづくりの推進を審議した際、施策 3-2-6 結婚や出産に結び付く支援にも、若者への就労支援という文言を追加させていただきました。今回、若者への就労支援という文言を、安定した雇用に向けた支援等へと修正するとともに、重点事業 2 子育てを応援し子どもたちを大事に育てるまちづくりの推進においても、下線部分を追加いたします。</p> <p>⑤結婚支援イベント等の出逢いの機会創出や、不妊治療助成事業、<u>安定した雇用に向けた支援等により</u>、結婚や出産に結び付く取組を推進します。(3-2-6)</p>
番号	該当箇所	質問・意見内容
9	<p>①重点事業 2 子育て</p> <p>②重点事業 4 災害に強いまちづくり</p>	<p>①不妊治療について、後期重点事業でも入れて欲しい。</p> <p>②コロナ禍で、孤独に子育てしている人も多い。孤独にならず、皆が助け合えるような米沢市ならではの施策を入れて欲しい。</p> <p>③新型コロナウイルス感染症拡大を受けて、市立病院での災害対策についても盛り込んでみてはどうか。</p>
	<p>担当課： 健康課</p>	<p>(①について) 質問・意見への回答</p> <p>不妊治療については、現在国が保険適用拡大に向けた検討を進めている状況も踏まえ、後期期間も重点的に取り組む必要があると考えています。ご意見を踏まえ、重点事業 2 子育てを応援し子どもたちを大事に育てるまちづくりの推進において、下線部分を追加いたします。</p> <p>⑤結婚支援イベント等の出逢いの機会創出や、<u>不妊治療助成事業、安定した雇用に向けた支援等により</u>、<u>結婚や出産に結び付く取組</u>を推進します。(3-2-6)</p>
	<p>担当課： 健康課・こども課</p>	<p>(②について) 質問・意見への回答</p> <p>委員のご指摘のとおり、新型コロナウイルスへの感染に対する不安や、外出自粛等の中で、子育てのしにくさや孤独を感じている家庭も多いと思います。本市では、そういった保護者のための各種相談窓口や、子育て支援センター</p>

		<p>等を設置し、安心して子育てができるよう支援しています。</p> <p>また、令和元年度に新たに開設した「もくいくひろば」では、保健師・栄養士による相談日を設け、遊びに来た時に気軽に相談できるようにしました。そういった子育て支援については、今後も重点的に取り組む必要があるため、重点事業2子育てを応援し子どもたちを大切に育てるまちづくりの推進の重点施策に、以下の施策を追加いたします。</p> <p><u>③乳幼児健診や相談等事業を通じ乳幼児の健やかな発育・発達、育児不安を軽減するための支援を行うとともに、ファミリー・サポート・センターや地域子育て支援センター機能の充実を図ることで、地域における子育て世帯の安心感を醸成します。(3-2-2、3-2-5)</u></p>
	<p>担当課： 市立病院総務課</p>	<p style="text-align: center;">(③について) 質問・意見への回答</p> <p>市立病院は、感染症指定病院ではないものの、今後感染症患者の受入に備え、患者を受け入れた場合の動線や入院施設等を想定しながら、新病院実施設計に合わせて具体的な運用を検討していきます。</p> <p>また、災害対策としては、新病院設計に際して、災害時における医療提供の中核的な役割を担う災害拠点病院を目指していくこととなっています。指定されれば、置賜地域では、公立置賜総合病院に引き続き2番目の災害拠点病院となります。つきましては、重点事業6災害に強いまちづくりの推進及び3-6-2市立病院の機能充実に、以下の施策を追加します。</p> <p>○新病院建設にあたり、災害拠点病院の指定を目指します。</p>
番号	該当箇所	質問・意見内容
10	<p>重点事業3 健康長寿</p>	<p>(審議会後に書面にて提出された意見)</p> <p>健康長寿日本一を目指すにあたり、スポーツを通じた人との関わりや日々の健康体力づくりは重要項目と考えています。スポーツ課がPRし、広めようとしているRUN+WALKの取組や地域に定着しつつあるラジオ体操など、市民一人一スポーツへの意識を高めるような施策の項目も必要と考えました。</p> <p>スポーツ振興計画などが策定されましたが、このような視点での事業も健康課とスポーツ課と協力しながら展開できたらと思います。</p>

	<p>担当課： 健康課・ スポーツ課</p>	<p style="text-align: center;">質問・意見への回答</p> <p>令和元年 12 月に制定した健康長寿のまちづくり推進条例において、健康長寿を目指した取組の一つとして、運動や休養の促進を挙げ、スポーツを通じた人との関わりや日々の健康体力づくりが重要であると認識しております。</p> <p>ご意見を踏まえ、重点事業 4. 互いに支え合う健康長寿のまちづくりの推進における重点施策①に下線の文章を追加します。</p> <p>①生活習慣病等の早期発見、早期治療及び重症化予防を図るため、がん検診その他の検診、健康診査、保健指導の受診促進など、保健事業を推進します。<u>また、市民のスポーツ活動参加への機会づくりに努めるとともに、必要な環境整備を推進します。(3-1-1、3-1-5)</u></p>
--	--------------------------------	--

(2) 米沢市におけるSDGsの取組について

番号	該当箇所	質問・意見内容
1	SDGs 達成度について	17のゴールの中で、米沢市で達成が一番難しいと想定しているゴールはどれか。自治体がどこに補助金を出せば、SDGsを達成できるかという視点を持って、今後5年間のSDGsへの取組を考えて欲しい。
	担当課： 総合政策課	<p style="text-align: center;">質問・意見への回答</p> <p>今回初めて総合計画にSDGsの考え方を導入しましたが、ゴールごとの指標検証による達成度の見込みまではできていない状況です。</p> <p>行政の性格上、特定のターゲットに特化して政策を進めていくことは難しいかと思いますが、今後、後期基本計画を推進する中で、漫然とSDGsに取り組むのではなく、その達成度も意識しながら進めていきたいと考えています。</p>
番号	該当箇所	質問・意見内容
2	ゴール1 貧困対策について	安定した雇用対策をSDGsのゴール1 貧困への対策の一つとして盛り込んでもらいたい。
	担当課： 総合政策課・ 商工課	<p style="text-align: center;">質問・意見への回答</p> <p>本市では、施策1-4 安定した雇用と働きやすい環境づくりの推進において、様々な雇用対策を実施しています。委員のご指摘のとおり、安定した雇用を目指す取組は、SDGsのゴール1 貧困対策につながります。前回審議会資料3-2「SDGsのゴールと後期基本計画施策との関係一覧」において、1-4 安定した雇用と働きやすい環境づくりの推進が目指すゴールとして貧困対策に○がついておりませんでしたので、新たに○を追加いたします。</p>